



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年1月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アクセル
コード番号 6730 URL <http://www.axell.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 譲

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 千代 進弘

TEL 03-5298-1670

四半期報告書提出予定日 平成23年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	5,963	△49.9	1,233	△75.3	1,247	△75.1	807	△73.8
22年3月期第3四半期	11,899	2.6	4,988	0.5	4,999	0.2	3,083	1.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	65.11	—
22年3月期第3四半期	248.63	248.61

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	12,766	12,252	96.0	987.92
22年3月期	15,850	13,562	85.6	1,093.51

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 12,252百万円 22年3月期 13,562百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	80.00	—	90.00	170.00
23年3月期	—	80.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	80.00	160.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

平成22年3月期期末配当金の内訳は、普通配当80円00銭、記念配当10円00銭となっております。

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,130	△41.1	1,970	△68.3	1,980	△68.2	1,280	△66.7	103.20

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 12,402,252株 22年3月期 12,570,000株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 一株 22年3月期 167,748株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 12,402,252株 22年3月期3Q 12,400,456株

(注)平成22年9月30日付で、自己株式167,748株の消却を行っております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(第3四半期累計期間)	5
(第3四半期会計期間)	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9
(2) 最近における四半期毎の業績の推移	10

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間（平成22年4月1日から平成22年12月31日まで）におけるわが国経済は、海外経済の改善や政府による各種内需刺激策の効果等により企業の設備投資意欲や個人消費に緩やかな持ち直しの動きが見られるなど、一部に景気回復の兆しが見られました。しかしながら、海外経済に対する減速感の台頭や円高傾向が続く為替相場の影響に加えて各種政策効果が一巡するなど、先行きに不透明な状況が続いております。

また、当社が属する電気機器業界におきましては、新興国の需要を背景にした輸出増加や家電エコポイント制度の縮小に伴う駆け込み需要等に牽引される形で一部回復傾向を示すものの、継続的な円高傾向や慢性的なデフレの影響等により、自立的な回復には至らないままでの推移となりました。

現在当社事業の中心的市場である遊技機器市場（注1）につきましては、過年度の規則改正により低迷していたパチスロ機において回復傾向が見られることや1円パチンコ等の低貸玉営業が幅広く定着したこと等により、遊技人口が2年連続で増加するなど、一部に明るい兆しも見えております。しかしながら、国内経済の低迷長期化、低貸玉営業の普及による遊技ホールの収益性の低下等により、遊技ホールの購買意欲は、集客力ある定番機種や大型企画などの一部機種のみ集中するなど、遊技機器の新台需要は総じて低調に推移いたしました。更に、厳しい市場環境を背景として遊技機器メーカーのコスト削減意識は強く、当社製品を含む遊技機器構成部品のリユースが本格化するなど、当社事業環境として厳しい状況下での推移となりました。

かかる環境の中で当社は、遊技機器の搭載液晶の大型化に対応したグラフィックスLSI（注2）製品「AG301」及びグラフィックス、サウンド、LED（注3）コントロール等複数の機能をワンチップに統合化したLSI製品「AG333」を中心に各種製品の販売に注力いたしました。

遊技機器市場に向けたグラフィックスLSI製品に関しましては、前年同四半期累計期間における中核製品であった「AG301」から高付加価値化を図った機能統合LSI「AG333」への移行が着実に進展いたしました。当社グラフィックスLSI製品の販売数量は、上記の厳しい市場環境に加えて、APECの開催に伴い行政への業務負担軽減協力の観点から遊技ホールにおいて新台入替が長期間自粛されたこと等を要因として前年同四半期累計期間に比較して97万個減の105万個の販売にとどまりました。同市場向けサウンドLSI（注4）製品に関しましては、機能統合化製品の販売や顧客の需要動向の影響により、その他遊技機器市場向け製品につきましては、いずれも顧客の需要動向の影響により前年同四半期累計期間に比較して販売数量が減少いたしました。一方、遊技機器市場以外の組み込み機器市場（注5）向けグラフィックスLSI製品につきましては、新興国に向けた輸出の増加などを背景に産業用機器を中心とする各種組み込み機器の在庫調整が一巡したことなどを受けて、前年同四半期累計期間を上回る販売となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は5,963百万円（前年同期比49.9%減）、営業利益は1,233百万円（前年同期比75.3%減）、経常利益は1,247百万円（前年同期比75.1%減）、四半期純利益は807百万円（前年同期比73.8%減）となりました。

（注1）「遊技機器市場」とは、パチンコ機及びパチスロ機等の製造に係る市場を意味しています。

（注2）「グラフィックスLSI」とは、液晶装置等に表示を行うためのLSIを意味しています。

（注3）「LED」とは、Light Emitting Diodeの略称です。導電することで発光する半導体素子を意味しており、発光ダイオードとも言われています。

（注4）「サウンドLSI」とは、デジタル化された音声データを再生するためのLSIを意味しています。

（注5）「組み込み機器市場」とは、「広義の組み込み機器の中から遊技機器を除いたその他の機器の製造に係る市場」として使用しています。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①当第3四半期末の資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の資産合計は、前年同四半期末との比較で1,914百万円減少となる12,766百万円（前年同期比13.0%減）となりました。主な要因は、前年同四半期以降における事業活動による現金及び預金の減少（1,993百万円）、当四半期末月の売上高が前年同月比で減少したことによる売掛金の減少（408百万円）及び未収還付法人税をはじめとするその他の流動資産の増加（765百万円）等によるものであります。

当第3四半期末の負債合計は、前年同四半期末との比較で1,375百万円減少となる513百万円（前年同期比72.8%減）となりました。主な要因は、当四半期末月の仕入高が前年同月比で減少したことによる買掛金の減少（419百万円）と未払法人税の減少（747百万円）となっております。

当第3四半期末の純資産合計は、前年同四半期末との比較で539百万円減少となる12,252百万円（前年同期比4.2%減）となりました。主な要因は、配当金の支払いによる利益剰余金の減少（1,144百万円）及び自己株式の減少（600百万円）等となっております。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期末における営業活動により支出した資金は2,105百万円となりました。

これは主に、当第3四半期における税引前四半期純利益(1,246百万円)に対し、法人税等の支払(2,290百万円)や減価償却費の計上(166百万円)、売上債権の増加(583百万円)、仕入債務の減少(322百万円)、その他流動負債の減少(257百万円)等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期末における投資活動により支出した資金は305百万円となりました。

これは、有形固定資産の取得(21百万円)及び無形固定資産の取得(33百万円)及び関係会社株式の取得による支出(250百万円)によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期末における財務活動により支出した資金は2,104百万円となりました。

これは主に、配当金の支払(2,103百万円)によるものであります。

以上の結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べて4,514百万円減少となる8,794百万円となりました。

(3)業績予想に関する定性的情報

当社第16期第3四半期累計期間の業績は、概ね計画通りの推移となりました。また、現在当社が入手可能な情報を総合的に鑑みて、業績予想の修正が必要と思われる特段の情報はありません。従いまして、平成22年9月15日に公表・修正いたしました業績予想は変更しておりません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①法人税等の計上基準につきましては、法定実効税率をベースとした年間予想税率により計算しております。

②たな卸資産に関して、実地たな卸を行わず帳簿たな卸により算定しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,794	9,309
売掛金	1,926	1,342
有価証券	3,999	3,999
商品及び製品	212	331
原材料及び貯蔵品	0	1
その他	1,014	192
流動資産合計	11,948	15,178
固定資産		
有形固定資産	197	239
無形固定資産	165	219
投資その他の資産	454	213
固定資産合計	817	672
資産合計	12,766	15,850
負債の部		
流動負債		
買掛金	400	723
未払法人税等	—	1,155
その他	101	409
流動負債合計	501	2,288
固定負債		
資産除去債務	7	—
その他	4	—
固定負債合計	11	—
負債合計	513	2,288
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018	1,018
資本剰余金	861	861
利益剰余金	10,360	12,262
自己株式	—	△600
株主資本合計	12,241	13,541
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11	20
評価・換算差額等合計	11	20
純資産合計	12,252	13,562
負債純資産合計	12,766	15,850

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	11,899	5,963
売上原価	4,998	2,651
売上総利益	6,901	3,311
販売費及び一般管理費	1,912	2,077
営業利益	4,988	1,233
営業外収益		
受取利息	8	6
受取配当金	1	2
雑収入	3	4
営業外収益合計	12	13
営業外費用		
株式交付費	1	0
為替差損	0	—
固定資産除却損	0	0
営業外費用合計	1	0
経常利益	4,999	1,247
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1
特別損失合計	—	1
税引前四半期純利益	4,999	1,246
法人税等	1,916	438
四半期純利益	3,083	807

(第3四半期会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期会計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	4,146	2,012
売上原価	1,793	841
売上総利益	2,352	1,171
販売費及び一般管理費	613	593
営業利益	1,738	578
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	—	1
生命保険配当金	1	1
雑収入	1	1
営業外収益合計	4	5
営業外費用		
株式交付費	0	—
為替差損	0	0
固定資産除却損	0	—
営業外費用合計	0	0
経常利益	1,743	584
税引前四半期純利益	1,743	584
法人税等	670	205
四半期純利益	1,073	378

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	4,999	1,246
減価償却費	198	166
長期前払費用償却額	2	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1
受取利息及び受取配当金	△9	△9
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,648	△583
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△141	119
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△2	8
仕入債務の増減額 (△は減少)	561	△322
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△427	△257
未払消費税等の増減額 (△は減少)	26	△194
その他	0	0
小計	3,559	175
利息及び配当金の受取額	9	9
法人税等の支払額	△2,324	△2,290
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,244	△2,105
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△149	△21
無形固定資産の取得による支出	△70	△33
関係会社株式の取得による支出	—	△250
その他	△0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△220	△305
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	7	—
自己株式の取得による支出	△0	—
リース債務の返済による支出	—	△1
配当金の支払額	△2,039	△2,103
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,032	△2,104
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,008	△4,514
現金及び現金同等物の期首残高	11,796	13,309
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,788	8,794

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第3四半期累計期間の生産実績は次のとおりであります。

区分	当第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	前年同期比 (%)
遊技機器市場向LSI製品 (百万円)	5,382	45.4
組み込み機器市場向LSI製品 (百万円)	195	224.2
その他 (百万円)	85	81.9
合計 (百万円)	5,663	47.0

- (注) 1. 金額は販売価額によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第3四半期累計期間の受注実績は次のとおりであります。

区分	当第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)			
	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
遊技機器市場向LSI製品	5,211	51.5	2,124	89.7
組み込み機器市場向LSI製品	176	144.4	54	93.7
その他	65	125.2	2	108.6
合計	5,453	53.0	2,181	89.9

- (注) 1. 金額は販売価額によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第3四半期累計期間の販売実績は次のとおりであります。

区分	当第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	前年同期比 (%)
遊技機器市場向LSI製品 (百万円)	5,693	48.4
組み込み機器市場向LSI製品 (百万円)	204	229.8
その他 (百万円)	65	120.7
合計 (百万円)	5,963	50.1

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2. 前第3四半期累計期間及び当第3四半期累計期間の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)
緑屋電気株式会社	11,109	93.4	5,679	95.2

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 最近における四半期毎の業績の推移

平成23年3月期

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	第1四半期 22年4月～22年6月	第2四半期 22年7月～22年9月	第3四半期 22年10月～22年12月	第4四半期 23年1月～23年3月
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	1,738	2,211	2,012	—
売上総利益	937	1,202	1,171	—
営業利益	125	529	578	—
経常利益	130	532	584	—
税引前四半期純利益	128	532	584	—
四半期純利益	79	349	378	—
1株当たり四半期純利益	6円41銭	28円14銭	30円55銭	—
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
	百万円	百万円	百万円	百万円
総資産	13,554	13,846	12,766	—
純資産	12,523	12,865	12,252	—
1株当たり純資産	1,009円73銭	1,037円32銭	987円92銭	—

平成22年3月期

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	第1四半期 21年4月～21年6月	第2四半期 21年7月～21年9月	第3四半期 21年10月～21年12月	第4四半期 22年1月～22年3月
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	3,928	3,824	4,146	3,595
売上総利益	2,348	2,200	2,352	1,972
営業利益	1,731	1,518	1,738	1,222
経常利益	1,735	1,521	1,743	1,225
税引前四半期純利益	1,735	1,521	1,743	1,225
四半期純利益	1,067	942	1,073	757
1株当たり四半期純利益	86円12銭	75円98銭	86円52銭	61円08銭
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
	百万円	百万円	百万円	百万円
総資産	13,335	15,215	14,680	15,850
純資産	11,769	12,715	12,792	13,562
1株当たり純資産	948円97銭	1,025円22銭	1,031円44銭	1,093円51銭

(注) 当社は、平成21年7月1日付をもって1株につき100株の割合で株式分割を行っております。なお、1株当たり四半期純利益及び1株当たり純資産は、期首に分割が行われたものとして計算しております。